

## 愛知県吹奏楽連盟 理事長あいさつ

私たち愛知県吹奏楽連盟は、全日本吹奏楽連盟の掲げる『響け、復興のハーモニー』のスローガンのもとに今年度も引き続き東日本の吹奏楽活動の復興支援に尽力してまいります。さらに、昨年4月に甚大な被害を被られた熊本県の皆様にもできる限りの支援をさせて頂く所存でございます。

さて、まず第1に愛知県吹奏楽連盟では『吹奏楽による音楽普及向上を図り、文化の発展に寄与すること』を目的として、1960年（昭和35年）に39団体にてスタートいたしました。創立以来57年が過ぎ、現在（4月22日総会時）では小学校22団体、中学校298団体、高等学校173団体、大学(13)・職場(5)・一般(52)の計70団体、総合計563団体という全国有数の加盟団体数があります。

第2に組織運営としましては、非常に大きな組織ですから、全体を3つの部門連盟に分けています。小・中学校連盟と高校連盟は県内を7つの支部（東三河、西三河北、西三河南、名古屋、知多、東尾張、西尾張）に分け、大学・職場・一般連盟は県全体を一つにまとめて、それぞれ三部門が各部門理事長のもとに活気に満ちた運営をしています。

第3に主要な活動についてです。私どもは全日本吹奏楽連盟の構成員であり、中部日本吹奏楽連盟の構成員でもありますから、県内の参加団体が両連盟の主催するコンクール・コンテストに出場できるように業務を遂行しています。その両連盟の全国大会・本大会への予選としての吹奏楽コンクール・アンサンブルコンテスト・小学校バンドフェスティバル・マーチング大会・個人重奏コンテストの5種類の大会を県連盟の主催事業として実施しています。

第4としまして大会以外の事業についてです。地域と連携した事業として6月開催の「有松絞り祭り吹奏楽イベント」、名古屋市・マーチング協会・バトン協会との連携事業として10月開催の「ナゴヤマーチング&バトンウェーブ」、久屋大通発

展会等との連携事業として 11 月開催の名古屋市久屋大通公園での「栄まちじゅう音楽広場」及び名古屋市栄のオアシス 21 での「大学職場一般吹奏楽フェスティバル」などを実施しています。そして「リレー・コンサート」として県内各地区での合同演奏会を 1 本の指揮棒とテーマ曲でつなぎ、東日本（今年度は、福島県を中心に）と熊本県の復興支援の募金活動をしています。今年度は 5 月の龍谷大学バンドフェスタを出発点に、県内各地区の 15 以上ものコンサートをリレーして来年 3 月に開催する「動くコンサート」にて終着点となります。幸い、これらのいずれもが吹奏楽ならではの聴いて楽しく見て楽しい企画として高い評価を頂いています。今後も吹奏楽のもつ庶民性と力強さを生かし、行政や商工会などとのタイアップを大切にして、地域イベントにも積極的に関わっていきたいと思っております。

かつて先輩諸氏は国や愛知県や名古屋市が主催する国家的事業である「インターハイ」や「わかしゃち国体」「ゆうあいピック」「ねんりんピック」などでの式典演奏に総力を挙げて取り組んでこられました。そして、そのいずれにおいても輝かしい威光を示されました。現在は、平成 31 年春に開催予定の「第 70 回全国植樹祭」開会式等の式典で演奏させて頂くべく、愛知県当局と協力して準備を進めています。

2010 年（平成 22 年）に愛知県吹奏楽連盟創立 50 周年事業を行い、記念式典とともにナゴヤドームにて 10,000 人規模の大演奏会を開催しました。2015 年（平成 27 年）には同じくナゴヤドームで演奏者 5,000 人による「動くコンサート」を実施しました。両方ともに多数の県民の皆さまからも参加者からも熱い称賛の言葉をいただきました。3 年後の 60 周年においてもナゴヤドームにて大勢で演奏できる演奏会の開催を目指して準備を進めております。

5 番目は吹奏楽指導者の人材育成活動についてです。毎年、「吹奏楽セミナー」を 1 泊 2 日で実施しています。これは全国レベルの実績を持つ指導者の貴重な知恵と経験が、県内吹奏楽指導者に共通の財産となって広がることを願った貴重な勉強会です。さらに、新人の指導者に対してはコンクール準備として、第一線を退かれたベテラン指導者が現場に出向いて実際に指導と助言をする「吹奏楽指導者支援事

業」を行っており、今年度も多くの加盟校の若い先生方からの応募を頂き、大変好評です。

6 番目に今後のことです。発足 58 年目を迎えた愛知県吹奏楽連盟は、引き続き小・中学校連盟、高等学校連盟、大学・職場・一般連盟の 3 つの部門連盟を縦軸とし、マーチング委員会、イベント委員会、セミナー委員会、行事担当委員会、全国大会実行運営局、事務局と会計局を横軸として、縦軸と横軸が有機的に関わりあいながら活力ある活動を行ってきました。さらにこの縦軸と横軸の関わりに指導者の年齢を超えた奥行きを加えて立体的な充実した吹奏楽活動を展開していきます。そしてこれらの愛知県吹奏楽連盟の取り組みを多くの方々に理解していただくためにホームページでの様々な情報の公開や新聞やメディアでの情宣にも力を入れていきたいと思えます。

全日本吹奏楽コンクール（中学校の部・高等学校の部）が平成 32 年までは名古屋国際会議場（センチュリーホール）で開催されることが決定されました。愛知県吹奏楽連盟は、今年も地元での開催を全力でお手伝いをさせていただきます。

最後になりますが、当連盟が 57 年の間にここまで成長できたことは、まず各加盟団体員と指導者の熱意によるものであり、そのことに深く感謝いたします。同時にこれほどの成長に達するまでの役員先輩諸氏のご努力に心より敬意を表したいと思います。さらに、支援して頂いた関係者全ての方々に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

今の時代の特徴である『少子化、多様化、情報化』等の動きを敏感に感じ取り、これからの愛知県での吹奏楽活動がどのように活動をしていくべきかを常に考えて各種の活動を推進していきます。

今後とも愛知県吹奏楽連盟の更なる充実発展のため、皆様方の一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。平成 29 年度のあいさつといたします。